

リコピンによるラットの糖代謝改善

成果の特徴

- 高リコピントマトを摂取していたラットでは、リコピン不含トマトを摂取していたラットと比較して、糖液の投与による血糖値の上昇が緩やかになりました。

方法

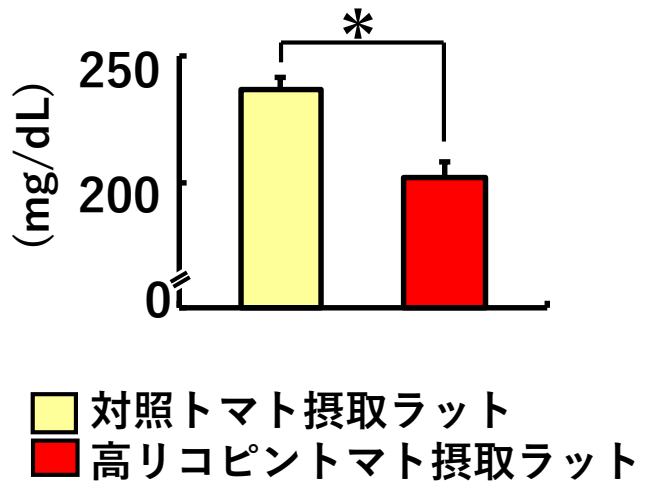


一晩絶食

採血

↑
糖液投与

血糖値（投与後30分）



成果の活用

・本試験で用いられた高リコピントマト（品種：PR-7）は、株式会社サラダボウルより商品名「ごちそうトマト」という名称で、量販店で販売されています。

参考文献

Hashimoto N, Tominaga N, Wakagi M, Ishikawa-Takano Y. *J Nat Med.* 2019 Jul 2. doi: 10.1007/s11418-019-01341-4.

本研究は、農研機構生研支援センターによる「革新的技術開発・緊急展開事業」（うち地域戦略プロジェクト）において実施されました。